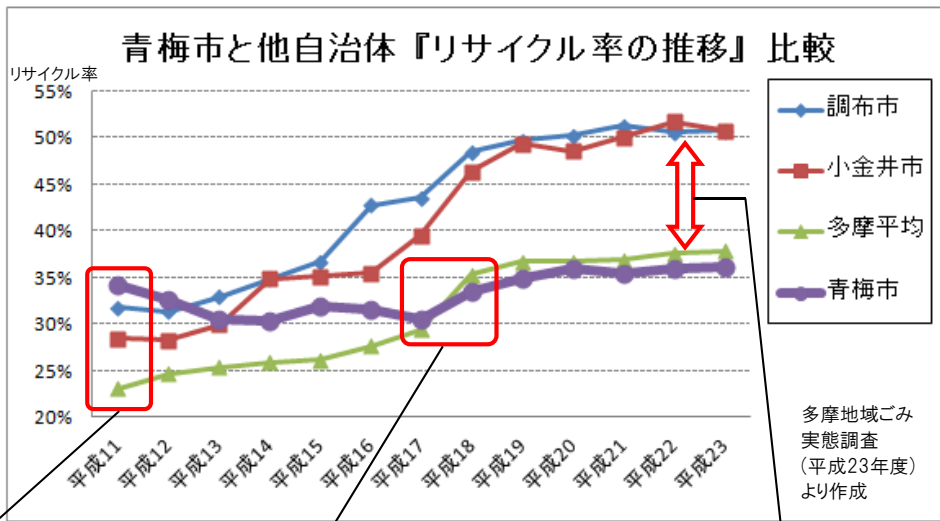


青梅市のリサイクル率

青梅市は、平成11年にごみ収集の有料化をいち早く始め、当初は多摩地域でリサイクル率は第一位でした。青梅市は、多摩地域でごみ問題をリードする存在だったのです。現在は、他の地域に追い抜かれて17位。多摩の平均値も下回っています。トップを走る調布市・小金井市には約15%もの差をつけられています。しかし、これはある意味チャンスを示しています。リサイクル率の上昇の余地がまだまだ青梅市にはあるのです。市民ひとりひとりの取り組みにより、調布市・小金井市に追いついて、**多摩地域ナンバー1のリサイクル率に返り咲けば、環境の為になると同時に、青梅市のごみ処理費用も抑え、私たちの負担を減らすことができます。**



① 青梅市は、ごみ収集の有料化を多摩地域でいち早く始め、平成11年は多摩地域でリサイクル率は第1位

② 青梅市に続く形で、他自治体もごみのリサイクル対策に取り組む。青梅市は伸び悩み、多摩平均以下となる。

③ 調布市・小金井市には、リサイクル率で15%ほどの差をつけられている。追いつく余地は十分にありま

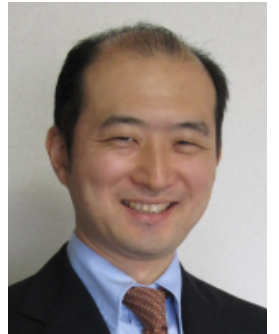
提言

ごみの分別を徹底して、青梅市のリサイクル率を第1位にしましょう!!!

一人一人の心がけで、ごみ処理費用を数億円単位で節約しましょう!!!

青梅市議会議員

おおせまち 37才
大勢待 としあき



青梅市のごみ処理費用が40億円

9月定例会では、ごみ問題について一般質問をしました。**青梅市の1年間のごみ処理費用は約40億円。**市税が約200億円ですので、単純計算をすると、私たちの税金の約1/5がごみ処理に使われていることとなります。

一番の問題は、燃やすごみ(緑の袋)の中に紙類が多く含まれていることです。雑誌・雑紙類を資源として分別・リサイクルすれば、ごみ処理費用を抑えて負担を軽くすることができます。

私たち一人一人の少しの心がけで数億円単位の節約ができます。

【プロフィール】

1975(昭和50)年4月27日生
ねむのき幼稚園
青梅市立若草小学校
青梅市立霞台中学校
都立立川高等学校
青山学院大学経済学部
立教大学院社会学研究科
元IT企業社員
青梅市議会議員(1期目)

紙ごみ分別ポイント

ごみ減量・リサイクル通信(10.2.15)より

① 雑誌と雑紙類はひもで束ねて資源ごみに出しましょう。



② 細かい雑紙も資源です。紙袋に入れて出しましょう。



【お問い合わせ】

ごみのリサイクルについて左面を参照

青梅市河辺町10-2-1-911 青梅市新町8-13-20 TEL : 080-6805-9236

FAX : 0428-31-7643 MAIL: t_ohsemachi@ybb.ne.jp HP: http://www.ohsemachi.net

オリンピック・パラリンピックを東京に誘致しよう

スポーツ祭東京 2013、2020 オリンピック・パラリンピック東京招致を盛り上げよう！

時間 (予定)・内容
午前 10時～11時
★ロンドンパラリンピック金メダリスト登場！
ゴールボールエキシビジョンマッチ
ゴールボール体験
午前 11時～11時20分
★ゆりーとダンス実演
午前 11時20分～正午
★ビーチボールのデモンストレーション
会場 総合体育館第1スポーツホール



若杉 遥さん、金メダル獲得おめでとうございます
広報おうめ2012/10/1号より抜粋

青梅市在住の若杉さんが、ロンドンパラリンピック・ゴールボールで金メダルを獲得しました。私たちの青梅市から世界の頂点を取るアスリートが出るなんて夢のようです(現実です)。広報おうめに、エキシビジョンのお知らせがあったので参加・体験させていただきました。



ゴールボールを体験

青梅市議会も誘致の決議



青梅市議会の定例会にて「オリンピック・パラリンピックを東京に誘致する決議」が可決されています。

ロンドンでの日本選手の活躍に歓喜した熱も少し落ち着いた今日ですが、あの感動を東京に誘致できるチャンスが訪れています。

東京を舞台にトップアスリートが技を競い合う姿は、日本の未来を担う若い世代や子供たちに大きな夢と希望を与え、次の時代を切り開いていく原動力になるでしょう。また震災復興の象徴の大会として世界史に残る大会になるはず。世界最大のビッグイベントの誘致のチャンスがあるのなら、みんなで盛り上げていくべき時であると思います。

なお来年・平成25年は、54年ぶりに東京都に国体がやってきます。青梅市では、8月にデモンストレーションとしてビーチバレーが、10月には御嶽溪谷にてカヌー競技が開催されます。

青梅市のスポーツ政策について

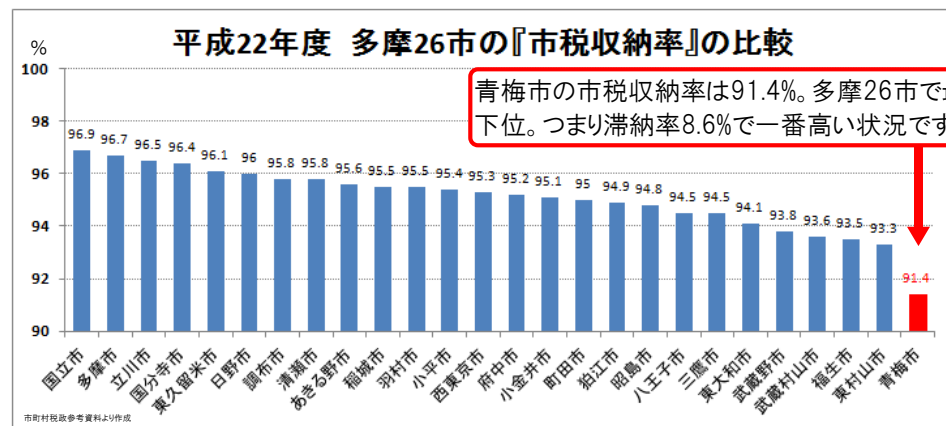
先の定例会にて「青梅市のスポーツ施設の整備」と「青梅からトップアスリートを育てる体制」、そして「子どもから大人までの誰もがスポーツを楽しめる環境を整備する」という主旨の一般質問を行いました。

平成25年10月、御嶽溪谷に国体カヌーが来ます。



青梅市の市税の滞納問題

定例会にて市税の滞納について質問をしました。平成22年度に青梅市が予定していた市税は約227億円。その内の滞納額、つまり支払われなかった市税は総額で約20億円。滞納率は8.6%になります。



青梅市の市税収納率は91.4%。多摩26市で最下位。つまり滞納率8.6%で一番高い状況です。

滞納に対して青梅市は今後どのような対策を立てていくのかという主旨の質問をしたところ、市長より①電話や督促・差押えの強化、②民間の債権回収会社の利用の検討、③多重債務など支払い困難者の相談体制を整備するという主旨の答弁をいただきました。

＜納税が困難な場合、例えば・・・＞

- 青梅市の窓口までご相談ください。電話0428-22-1111 担当課・相談先などの紹介を受けることができます。
 - 青梅市で相談しづらい場合は「社団法人 生活サポート基金」(in銀座) 電話03-5565-1190 などのご相談窓口があります。
- ※相談先とのやりとりについては責任をお受け致しかねますのでご了承ください。



会派に入りました。

市議会議員になってから一人会派で活動していましたが、この度、会派・改革フォーラムに所属することになりました(政治的立場は現在も無所属です)。

議会で発言し、議会報告をすることで一人でも活動を行っていくことは十分可能です。しかし市議会は24人で構成されています。他の議員と協力し、お互いの意見・情報を共有して、チームワークで市政の課題に取り組み解決していくことも重要です。

